贈与税の非課税措置にかかわる証明書等発行　サービス

工事内容チェック･現場検査シート

木造枠組
耐震性

既存住宅の取得においては構造種別による劣化事象等シートを併せてご提出下さい

HOUSE PLUS

処理欄

原本：検査員　控え：申込担当者または現場担当者
検査員：原本を図書と併せてハウスプラスへ送付

受付番号	8 ー 8 8 ー 8 8 8 8 8	検査のタイミング	○ 躯体工事の完了時	○ 竣工時または取得時の現況
住宅名称				
検査員番号	H P K ー 8 8 8 8 8 ×	検査実施日	2 0 8 8 年 8 8 月 8 8 日	
検査員署名		申込担当者または現場担当者 署名		

▼太線内､申込担当者又は現場担当者による申告欄　チェックの上､検査員へ提出をお願いします

申込担当者･現場担当者 事前確認	現場検査にあたり､当該サービスの設計審査を受けた申請図書のとおりに施工されていることを確認しました ○ 確認	検査員確認
適合する評価方法基準	□ 耐震等級（倒壊等防止）等級２　□ 耐震等級（倒壊等防止）等級３ □ その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）　免震建築物	□

確認する項目		施工の概要（全ての項目にチェックが必要となります）	確認
木造枠組（２×４工法）	部材の品質	□ 土台について、構造耐力上の欠点がない	□
	土台・柱など	□ 土台の継手位置が構造耐力上支障のない位置に設けられている □ 枠組材は所定の品質であり、所定の間隔である □ アンカーボルトが所定の品質・埋め込み長さの確保・位置である	□
	耐力壁（面材の場合）	□ 面材耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さである □ 釘が所定の種類､留付け間隔である	□
	耐力壁（筋かい併用の場合）	□ 面材耐力壁が所定の位置､長さ､種類､断面､方向である □ 筋かいは所定の方向、断面、留付である	□
	準耐力壁	□ 準耐力壁は所定の位置、長さ、種類厚さである　□ 釘は所定の種類、間隔である □ 準耐力壁の直上・直下の根太の支持距離が所定の長さである	□
	床組等	□ 床下張材は所定の種類、厚さである　□ 釘は所定の種類、間隔である □ 天井根太の寸法、間隔、留付けが所定のとおりである	□
	屋根面	□ 所定の勾配である　□ 面材が所定の種類、厚さ、留付け間隔である □ 釘が所定の種類､留付け間隔である □ たる木の寸法、間隔、留付け状態が所定のとおりである	□
	接合部	□ 接合金物は所定の品質、種類である　□ たて枠上下端が所定の留付けである	□
	基礎	□ 基礎が所定の配置である　□ 所定の寸法の根入れ深さである □ 立上り部分の高さ､厚さ､底盤が所定の寸法である □ 主筋･補強筋が所定の径､位置である　□ 開口部周辺等の補強が所定の方法である	□
竣工時または取得時の現況の検査		点検口がない場合は同等と判断できる代替えによるものが必要となります（いずれかの点検口より実施）	
	各点検口などによる躯体の施工状況の確認	□ 床下点検口　□ 小屋裏点検口　□ ユニットバス天井点検口 □ その他（　　）	□
現場状況を確認する提出資料		実施する検査のタイミングにより目視等で確認できない部分について提示または提出をお願いします	
	□ 躯体工事の完了時	□ 基礎の施工状況写真	確認 □
		□ 検査済証または工事監理報告書等	依頼※1 □
	□ 竣工時または取得時の現況	□ 基礎の施工状況写真　□ 耐力壁（筋交いまたは面材）の施工状況写真	確認 □
		□ 火打ち材または床組の施工状況写真　□ 接合金物の施工状況写真	
		□ 検査済証または工事監理報告書等	受領 □

検査記録

		工事内容チェック･現場検査シート(控え)送付先	FAX（　　－　　－　　）
検査結果	○ 適合　○ 適合 一部後日　○ 不適	不備部分等の提出期限	2 0 8 8 年 8 8 月 8 8 日
最終結果（提出資料確認）	○ 適合　○ 不適	再検査実施日	2 0 8 8 年 8 8 月 8 8 日

注意
・施工概要中「所定」とは「設計審査後の申請図書の内容」を指します
・提出資料において検査員が受領しない場合は､検査時の最終結果は空白のままとなり､資料を受領するハウスプラス本社で最終結果を判断します

※１　躯体工事の完了時に依頼する資料提出先は、
〒108-0014　東京都港区芝5-33-7徳栄ビル本館4階
ハウスプラス住宅保証株式会社　技術管理部（贈与税）宛

All Rights Reserved Copyrights© ハウスプラス住宅保証株式会社 2012-2015 HP住-308-4（Ver.20150616）